

わがまちの未来を切り拓く

～いまある“フクシ”を超えていくために～

第42回

全国社会福祉法人経営者大会 開催要項

01 主 旨

2022年の合計特殊出生率は1.26となり、出生数は初めて80万人を下回るなど、加速化する少子化と人口減少の現状は、まさに国難として早急に実効性ある対策を講じなければならない喫緊の重要課題となっている。

国は、こども未来戦略方針を策定し、異次元の少子化対策を講じることとしているが、人びとの生活環境やライフスタイルが大きく変容するなか、地域社会において、その課題と特性を踏まえた実践を、あらゆる社会資源が連携して展開していくことこそが少子化・人口減少対策の要諦であり、また、その成否が地域社会の未来に大きくかかわることになる。

私たち社会福祉法人が地域社会の未来を見据え、今なすべきことを自覚して実践しなければ、社会福祉法人の存立基盤である地域社会そのものが持続することはできない。

一方で、長期化するコロナ対応、未曾有の物価高騰、また、経済界の賃上げによる全産業平均との賃金格差によってさらに厳しくなる人材確保など、社会福祉法人の経営環境はかつてないほどに厳しさを増している。防衛力強化や次元の異なる少子化対策に向けて、さらなる歳出削減が強硬に進められることが想定されるなか、次期報酬改定等は極めて厳しい状況下での対応となる。

こうした状況を踏まえ、本大会は、地域社会の未来に責任をもつ私たち社会福祉法人経営者が神戸の地に結集し、いまある“フクシ”を超えて“地域の未来を切り拓く”実践を考え、また、そうした新たな取組にチャレンジしていくために必要となる経営基盤の強化策を研究・協議することを目的に開催する。



02 主 催

全国社会福祉協議会
全国社会福祉法人経営者協議会
兵庫県社会福祉協議会
兵庫県社会福祉法人経営者協議会

03 後 援

厚生労働省、兵庫県、神戸市（依頼中）

04 期 日

令和5年9月21日(木)、22日(金)

05 会 場

神戸ポートピアホテル

06 定 員

1,500名

07 参 加 費

※大会1日の昼食（お弁当）を含む
全国経営協会員法人
からの参加者 1名あたり 30,000円
非会員法人等からの参加者 1名あたり 40,000円

08 懇親会費

1名あたり 12,100円（自由参加）



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

全国社会福祉法人経営者協議会

09

大会日程・プログラム内容（予定）



1日目

9月21日(木曜日)

9:00	受付 神戸ポートピアホテル	
10:00	開会式	開会のことば 兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長 谷村 誠 主催者挨拶 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子 兵庫県社会福祉協議会 会長 入江 武信 来賓挨拶 厚生労働大臣 加藤 勝信 氏 兵庫県知事 斎藤 元彦 氏
10:35	基調報告	「社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み」 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格
11:20	特別講演	「ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想～新しい公共的ビジョン」(仮題) 千葉大学大学院人文公共学府公共研究センター長 小林 正弥 氏
12:20	昼食・休憩・移動	各分科会場へのご移動
13:30	分科会	分科会名 1 風を読む、人材確保のトレンド～人材確保・定着・育成 2 ふるさとを守り抜く事業展開～多角化・多機能化等、経営強化実践 3 社会課題の解決、一步前へ～生活困窮や孤独・孤立への支援 4 気づくことで傷つけない未来へ～質の向上、虐待・権利侵害の防止 5 社会福祉法人の新たな共生的役割を切り拓く
17:30		※詳細は別途ホームページ等でご案内いたします
18:30	懇親会	会場／神戸ポートピアホテル「大輪田」
20:30		

2日目

9月22日(金曜日)

8:30 受付 神戸ポートピアホテル

9:00 パネルディスカッション

「わがまちの未来を切り拓く～いまある“フクシ”を超えていくために」

人口減少、少子化の加速化が国難とも言える喫緊の課題となるなか、少子化への取組みを中心とした実践を交えながら、地域社会の未来を見据え、社会福祉法人がいまあるフクシを超えて果たすべき役割と実践を考える。あわせて新たな取り組みにチャレンジするために必要となる経営基盤の強化策〔効率化、多角化・多機能化など〕について考察する。

●岡山県奈義町 こども・長寿課長 中井 正和 氏
(出生率2.95 少子化対策「奇跡の町」の実践の視点から)

●社会福祉法人サンビジョン理事長/佐久大学 客員教授 唐澤 剛 氏
(地域共生社会・地域創生政策の視点から)

●兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長 谷村 誠
(課題を抱える妊産婦等への支援など、ほっとかへんネットの実践から)

●早稲田大学 人間科学学術院 教授 松原 由美 氏(兼・コーディネータ)
(経営基盤の強化策の視点から)

10:50 記念講演 「人を動かす チームを伸ばす—ピンチを脱する小さな一步の可能性—」

元・阪神タイガース選手、野球解説者 赤星 憲広 氏
朝日放送テレビ株式会社アナウンサー 伊藤 史隆 氏

12:00 大会宣言 全国社会福祉法人経営者協議会 副会長

12:10 次期開催県挨拶 神奈川県社会福祉法人経営者協議会 会長 小泉 隆一郎 氏

10

参加申込み

同封の別冊「参加・宿泊等のご案内」をご参考の上、インターネットにて下記の参加申込み専用サイトからお申込みください。

<http://www.mwt-mice.com/events/2023keieikyo>



12

懇親会について

ご希望者のみの参加となります。参加を希望される方は、参加申込みと合わせてお申込みください。

参加費 1名あたり 12,100円

11

参加申込み締切

令和5年8月23日(水)

※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

13

参加費等のお支払い方法

参加申込みサイトからの申込みを受けて発行される申込み完了メールにて振込案内を行います。申込み完了メールに記載の指定口座に銀行振込にて期限までにお支払いください。

わがまちの未来を切り拓く

～いまある“フクシ”を超えていくために～

第42回

全国社会福祉法人経営者大会 開催要項

01 主 旨

2022年の合計特殊出生率は1.26となり、出生数は初めて80万人を下回るなど、加速化する少子化と人口減少の現状は、まさに国難として早急に実効性ある対策を講じなければならない喫緊の重要課題となっている。

国は、こども未来戦略方針を策定し、異次元の少子化対策を講じることとしているが、人びとの生活環境やライフスタイルが大きく変容するなか、地域社会において、その課題と特性を踏まえた実践を、あらゆる社会資源が連携して展開していくことこそが少子化・人口減少対策の要諦であり、また、その成否が地域社会の未来に大きくかかわることになる。

私たち社会福祉法人が地域社会の未来を見据え、今なすべきことを自覚して実践しなければ、社会福祉法人の存立基盤である地域社会そのものが持続することはできない。

一方で、長期化するコロナ対応、未曾有の物価高騰、また、経済界の賃上げによる全産業平均との賃金格差によってさらに厳しくなる人材確保など、社会福祉法人の経営環境はかつてないほどに厳しさを増している。防衛力強化や次元の異なる少子化対策に向けて、さらなる歳出削減が強硬に進められることが想定されるなか、次期報酬改定等は極めて厳しい状況下での対応となる。

こうした状況を踏まえ、本大会は、地域社会の未来に責任をもつ私たち社会福祉法人経営者が神戸の地に結集し、いまある“フクシ”を超えて“地域の未来を切り拓く”実践を考え、また、そうした新たな取組にチャレンジしていくために必要となる経営基盤の強化策を研究・協議することを目的に開催する。



02 主 催

全国社会福祉協議会
全国社会福祉法人経営者協議会
兵庫県社会福祉協議会
兵庫県社会福祉法人経営者協議会

03 後 援

厚生労働省、兵庫県、神戸市（依頼中）

04 期 日

令和5年9月21日(木)、22日(金)

05 会 場

神戸ポートピアホテル

06 定 員

1,500名

07 参 加 費

※大会1日の昼食（お弁当）を含む
全国経営協会員法人
からの参加者 1名あたり 30,000円
非会員法人等からの参加者 1名あたり 40,000円

08 懇親会費

1名あたり 12,100円（自由参加）



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

全国社会福祉法人経営者協議会